



保護者の皆さまへ.....

鹿大だより

第23号

編集・発行 / 国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580 鹿児島市都元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854 E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学入学式(2019年4月5日)



学長就任のご挨拶
国立大学法人鹿児島大学学長
佐野 輝

鹿児島大学学長に就任した佐野輝です。学長就任にあたり、改めてその重責に身の引き締まる思いです。もとより様々な事業の推進や改革など皆さまの協力なしには成し得ず、重ねて皆さまの協力をお願いいたします。

鹿児島大学の目指す方向として「南九州から世界に羽ばたくグローバル教育研究拠点・鹿児島大学」を掲げ、運営に当たる所存です。

2019年度は、本学が新制・鹿児島大学として出発してから70年という節目の年ですが、将来的に鹿児島大学がますます発展しますよう、次の目標を実現させていこうと考えています。

教育の国際化を進め、国際的に活躍できる人材を育成する。学内資源を有効に生かして国際レベルの研究を推進する。南九州・南西諸島を中心とした地域が抱える課題に対処することによって社会貢献を果たす。附属病院を有する環境の中から、基礎的・先端的研究からの橋渡し研究において得られた結果としての先進的医療の実践し、地域性を生かした質の高い医療を行うとともに次世代の教育に努める。

以上の目標に向かって皆さんとともに、果敢に挑戦をしていきたいと思います。

鹿大生の日常 file.02

実習

臨床現場で経験を積んでいます

共同獣医学部の学生は、長期の臨床実習(48週)を経験します。私も現在、共同獣医学部附属動物病院で、実際の臨床現場に立ち、先生方について、動物の診療や治療を行っています。扱うのは犬、猫、牛、馬など。大学内だけではなく、鹿児島県動物愛護センターや、牛・馬の農場でも実習しています。

実習が始まった当初は、採血や、これから処置を行う動物の保定(動かないように抑えておくこと)など、できなかったことができるようになると嬉しかったです。講義で学んできたことが、社会に出た後に活かせるんだと実感できるので、楽しいですね。一方で、生き物を扱っているので苦労もあります。

薬を飲んで欲しくても吐き出してしまったり、検査中にじっとしていられずに暴れてしまったり…。思い通りにならないことも多いですが、多くの経験を積むことが、自分自身の成長につながるの、今はとにかく一生懸命実習に取り組み、将来につなげていきたいと考えています。

馬(ポニー)のブラッシングを行う小川さん。動物の診療を行うには、まず動物を飼養できるようにならなければなりません。共同獣医学部の学生は、餌を与えたり水を取りかえたりと、動物の診療を通して飼養管理の方法も学びます。



小川 竣太郎さん
共同獣医学部獣医学科 5年



鹿大生の日常 file.03

大学院 # 研究 # 天文学

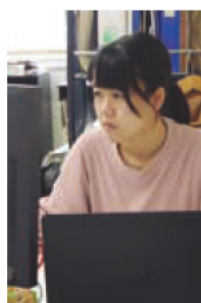
山の上の観測所で天体を観測しています

理学部を卒業後、大学院に進みました。私が所属する研究グループには「天の川銀河の立体地図を作る」という大きなテーマがあり、そのために観測所で、1m光赤外望遠鏡を活用した天体観測を行っています。主な場所は大学から車で1時間ほどの入来峠。人里離れた山の上です。

観測は研究室のメンバーと交代制。1回あたり3~4日滞在し、昼夜逆転生活を送りながら一人で観測します。主に晴れた夜に観測するので、一晩中晴れると休憩も取らずに観測しどおしです。当然、買い物ができる場所もないので食料持参で臨みます。ロマンチックなイメージの天文学ですが、実際は地味な活動の方が多かったです。でも「今の天体を観測できるのは私しかない!」と乗り切っています。

望遠鏡の向きや焦点を微調整しながら観測しますが、調整がすぐにできると嬉しいです。先輩から代々引き継がれている天体もあり、「このデータがあつて良かった!」と思うこともしばしばです。

昨年は、名古屋大学所有の赤外望遠鏡IRSFがある南アフリカにも行きました。宇宙はまだまだ謎ばかりで、毎日が新しい発見の連続です。ぜひ皆さんにも天文学に興味を持ってもらえたら幸いです。



観測後は、研究室で天体の画像解析を行います。真剣な表情でデータとらめっこ。



速見 由紀子さん
大学院理工学研究科
物理・宇宙専攻(博士前期)1年
(理学部物理科学科卒)



天の川銀河を背景にパジャリ左下の人影が速見さん。(2018年、南アフリカにて撮影)

特集 鹿大生の日常

私たちがこんなふうに通っています

新学期が始まり、早くも一ヶ月が過ぎました。学生たちは気持ちも新たに一年をスタートさせたことでしょうか。

さて、保護者の皆様からは「学生が普段どのように過ごしているのかを知りたい」というお声をよくいただきます。そこで今号では、学生の皆さんにインタビューを行い、「日常」について話を伺いました。実習や部活など学内での活動から休日の過ごし方まで、鹿大生の今をお届けします!

ジャンベのリズムでみんなを笑顔に!

鹿大生の日常 file.01

サークル # 笑顔で演奏 # アフリカン

ジャンベという楽器をご存知ですか?ジャンベは西アフリカの伝統的な太鼓です。木をくり抜いたものにヤギの皮を張り、手で叩いて音を鳴らします。私は、サークル「Djembelly(ジャンベリー)」に所属しており、学祭やライブ、お祭りで演奏したり、福祉施設でジャンベを教えるボランティアなどを行っています。三島村出身の私にとって、幼い頃からジャンベは身近な存在でした。大学生になり、楽しそうに演奏する先輩方を見て、もう一度演奏したいと思い、入部しました。



平田 竜暉さん
教育学部
生涯教育総合課程(地域社会)3年

昨年は「騎射場のきさき市」での練り歩きイベントや、熊本で行われた「ジャンベ王国」に参加しました。ジャンベを通じてたくさんの人と出会うことができ、充実した毎日を過ごしています。サークルでの経験を活かし、今後は「地元へ貢献できることをする」という夢に向かって、大学や地域を盛り上げながら学生生活を送りたいです!



2018年11月、「騎射場のきさき市」で演奏するジャンベリーの皆さん(一番手前が平田さん)。歩きながら演奏できるのもジャンベの特徴だそうです。

more info

研究者の卵として天体観測に励む速見さんは、実はイラストを描くのも得意。公式マスコットキャラクター「さつん」グッズのデザイン制作に協力してくれています!



マグカップ



クリアファイル



Tシャツ・ポロシャツ

(注) 学生の学年は2019年3月現在のものです。



浜崎 純雄さん
工学部建築学科 3年

鹿大生の日常 file.05

#寮生活 #部活 #石笑会部長

寮に部活に勉強に…
忙しくも充実した日々。

大学の男子学生寮に住んで丸3年。新入生との親睦会やピクニック、体育祭など、寮生主体のイベントが多く、有意義な学生生活のために皆で助け合いながら過ごしています。昨年の寮祭(寮の文化祭)では女子寮の方々とペアを組み、ソーラン節を披露しました。茶道部「石笑会」も、寮の先輩に誘われたのがきっかけで入部し、昨年は部長を務めました。茶道部は例年、学祭で一般向け茶会を主催していて、昨年は2日間で180名ほどのお客様がいらっしゃいました。多いときは一席20名にお茶を点てるので、裏方は大忙しですが、OB・OGの皆さんにも手助けいただき、部一丸となって茶会を成功させました。

入学してからの3年間は本当に楽しくて、まだまだ大学にいたいのですが、そういうわけにもいきません。大学生活ラスト1年、悔いのないよう過ごしたいです。工学部では今年からゼミに配属されるので、勉強もしっかり頑張ります!



学祭のお茶会にて(中央が浜崎さん)。「人生初の着物でした。すごく嬉しかったです」



小迫 和昂さん
工学部
情報システム工学科 1年

鹿大生の日常 file.04

#鹿大周辺 #おすすめスポット #隠れた名店

大学周辺でお気に入りの場所を探すのが
楽しいです

鹿大周辺は古くから学生街として賑わってきたそうで、学生にとってありがたい「リーズナブルで美味しい」飲食店が今もたくさんあります。私は自炊もしますが、やはり、素敵なお店を探し出すことができると嬉しいものです。最近のイチオシは大学から徒歩10分ほどの場所にある惣菜屋さん。メニュー豊富で、昼食から夕食まで揃えることができます。中でも唐揚げが大のお気に入り、インスタントでは超えられない味だなあと思いつながりよく購入しています。

周辺を散歩するうちに気がついたのは温泉が多いということ。県外出身の私は、鹿児島県の温泉地といえば指宿くらいしか知らなかったのですが、市街地にこんなにも温泉があるとは驚きでした。休日は銭湯でリラックスしています。今年は2年生になり、プログラミング言語や数値解析などより専門的な科目を学んでいく予定なので、お気に入りの場所で気分転換しながら頑張りたいです。



小迫さんお気に入りの一品!「この唐揚げに出会って本当に良かった」と熱く語ってくれました。今年は温泉巡りもしてみたいそうです。



友達と卓球を楽しむ岩園さん。「今年も時間を有効に使い、楽しく過ごしていきたいです」

空き時間はスポーツでリフレッシュ!

大学では、授業と授業の間に1コマ(90分)以上の空き時間ができることは少なくありません。そんな“空きコマ”を有効利用したいと思い、私はよく大学の体育館で、卓球やバスケ、バドミントンをして過ごしています。天気が良いときは近くの公園まで出かけることも。また、お昼前後に時間があるときは、少し遠出してランチしたり、鹿児島中央駅まで自転車で出かけたります。体を動かすことが、良い気分転換になっています。

水産学部への入学を機に鹿児島に来て、これまで魚類等の水生生物のみならず、作物・害虫についても学んできました。せっかく海や自然が豊かな鹿児島にいるので、今年は県内各地を巡り、鹿児島の魚を味わうとともに、魚介類の調理法についても学び、身につけたいと思っています。魚釣りにも挑戦してみたいです。

鹿大生の日常 file.06

#空きコマの過ごし方



岩園 愛さん
水産学部
(国際食料資源学特別コース)
2年



コーナー名の由来 さつつん
農学部4年 北出 理沙さん
農学部4年 大瀧 奈緒さん

私たちが
出演
します!

MBCテレビ「かごしま4」内のコーナー「さつつんキャンパスレポート」をご存知でしょうか? 広報センターは学生と協力して、月に1回、学生の取り組みや大学の今の姿などを生放送で紹介しています。放送は今年1月で4年目を迎えました。今回、MBCテレビのご協力を得て、1月の様子に密着。準備から放送までの様子をレポートします。

鹿大生の日常 file.07

#学生 × 広報 #テレビ

4年目突入! 学生が発信する“旬”な鹿大

▼その後は最後の打ち合わせです。リハーサルで気になった点を洗い出し、台本を修正します。時間内に話が終わらなかったら、「喋っていない間はどうぞ静かに台本をチェックしてました。」

焼鳥屋を出店した際のエピソードなどを話してもスムーズに進みましたが、実は「自分が何を言っているのか分からなくなった…(大瀧さん)」と、緊張していた様子。



出演の約2時間前にテレビ局入り。控室に入り、台本に軽く目を通すと、すぐにリハーサルが始まります。この日は二人は、大学の過ごし方や学内施設の紹介をするほか、学祭で

2 テレビ局入り & リハーサル

▼過去の画像を見ながら本番をイメージ。「本番では、台本よりも自分の言葉で喋りたいからね」と職員に言われると、二人は「できるかなあ」と少し不安そうなお顔です。「大丈夫、司会者が助けてくれるから。」打ち合わせが終わると、あっという間に本番です!



1 打ち合わせ

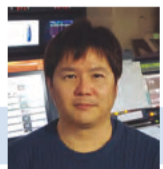


まずは打ち合わせです。出演する学生は、この日初めて広報室職員と顔を合わせます。番組の趣旨から当日の流れまで一通りの説明を受けた後、学生は事前に提出する原稿を手渡されます。この原稿をもとに職員が台本を作成するので、大瀧さん、北出さんにはできるだけたくさんエピソードを書いてもらいます。

OB's VOICE

お話を伺いました

なかつる たかひろ
中鶴 崇大さん
MBC 南日本放送「かごしま4」編集長
教育学部特別教科保健体育科(平成7年卒)



私たちは鹿児島の魅力、住む人の魅力を伝えています。「鹿児島っていいな」と感じてほしいからです。「かごしま4」に出演した学生たちの研究は「鹿児島のカタツムリ400種類を調査」、「日本の大学で唯一の焼酎学を専攻」などで、興味深く、鹿児島らしさを感じます。今取材している水産学部の卒業生は、枕崎の廃屋を利用し、夢であった海の博物館を作っています。その原点は鹿大での学生生活。先輩の皆さんも、今この時をぜひ自分の夢のために過ごしてください。

最後に二人は、これから鹿大を目指す高校生に向けて声援を送り、生放送は終了しました。大瀧さん、北出さん、本当にありがとうございました!

おつかれさまでした!



<最後にMBC玄関で記念撮影>



▼さあ、いよいよ本番です! さつつんと一緒にスタジオ入りし、「さつつんキャンパスレポート」スタートです。本番が始まると、二人ともカメラの方をしっかりと向き、にこやかに話しています。スタジオはときおり笑い声に包まれるなど、終始楽しそうな雰囲気。充実した大学生活が手に取るように分かる素晴らしいレポートとなりました。

出演10分前、二人はスタジオ袖へ移動。スタジオでは今まさに「かごしま4」の生放送中で、収録現場は緊張感に包まれています。大瀧さん、北出さんも、生放送の雰囲気にも立ってほしいという様子。ぎりぎりまで台本を読み直し、セリフを確認していました。

3 ドキドキの本番!

*さつつんキャンパスレポートは、2019年4月から内容をリニューアルして放送しています。

◆ 学生表彰 ◆

※学年は表彰時の学年

●平成30年度 鹿児島大学進取の精神学生表彰

本学の学生憲章の趣旨に即し、困難な課題に果敢に挑戦する「進取の精神」を実践し、優れた活動実績や業績等を収めた学生及び学生団体を表彰するものです。以下に被表彰者を掲載し、優秀賞等を授与された被表彰者については表彰理由を併せて記載します。

Table with columns: 被表彰者 / 理由. Rows include: 優秀賞 尾林 莉咲 (歯学部4年) 第2回かぎん未来創造プランコンテスト 未来創造プラン大賞; 準優秀賞 CSR 鹿児島市中洲校区コミュニティ協議会と連携し、地域づくりを推進。特に、地域の子ども・若者の社会参加・参画を促すため、映像を活用したコミュニティ放送局の開設を企画・立案した。中洲校区コミュニティ協議会より表彰を受ける。; 準優秀賞 歯学部女子バレーボール部 第50回全日本歯科学生総合体育大会バレーボール部門優勝; 【学部】 学生会弓道部、児島 一州 (共同獣医学部6年); 【研究科】 ○理工学研究科 中尾 有希 (博士前期課程1年建築学専攻) 田村 健太郎 (博士前期課程1年建築学専攻) 尾川 航平・塩月 智葉・坂元 利伎 (博士前期課程1年建築学専攻) 朝日 汰一 (博士前期課程1年化学生命・化学工学専攻) 堀江 亮介 (博士前期課程2年海洋土木専攻) 岩井 迫 蘭 (博士前期課程1年海洋土木専攻) 岸本 聡 (博士後期課程3年総合理工学専攻); ○農学研究科 大林 桃百香 (修士課程1年生物資源化学専攻); ○医歯学総合研究科 上之面 知邑 (修士課程1年医科学専攻) 原田 浩輝 (博士課程4年先進治療科学専攻) 岩川 昌平 (博士課程4年先進治療科学専攻) 山本 祐士 (博士課程3年健康科学専攻)



「平成30年度進取の精神学生表彰」表彰式にて (2019年2月27日)

●平成30年度 鹿児島大学稲盛賞

本学を卒業された京セラ株式会社名誉会長 稲盛 和夫氏のご寄附により、平成15年度から設けられた学生表彰制度で、①学業に専念し成績優秀で品行方正な最終年度の学部学生、②社会の期待にこたえるような業績を挙げた学部学生及び大学院学生、③その他前2号と同等以上の表彰に値する行為等があったと認められる学部学生及び大学院学生を表彰するものです。

- ・法文学部/児島 玲奈、藤野 千愛 ・教育学部/西山 鶴真 ・理学部/鳥井田 歩生、中野 亮典
・医学部/光廣 直貴、松元 愛美 ・歯学部/平野 憂花 ・工学部/西村 一心、有馬 真輝
・農学部/眞茅 拓実、狩野 渚 ・水産学部/新 真実、清水 美花
・共同獣医学部/服部 美紀 ・教育学研究科/末廣 涉

●平成30年度 鹿児島大学工業倶楽部賞

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部との包括連携協力協定の目的に基づき、平成17年度から設けられた学生表彰制度で、鹿児島県地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績等を挙げた、大学院研究科に在学する最終年度の学生を表彰するものです。

- ・増満 勇人 (理工学研究科 博士前期課程) 「新化合物クロム-アルミニウム-ゲルマニウムの磁気特性の解明に関する研究」
・井之上 弘樹 (農学研究科 修士課程) 「鹿児島県畜産物の高品質化に向けたメタボミクスの応用に関する研究」

●平成30年度 鹿児島大学商工会議所会頭賞

鹿児島商工会議所との包括連携協力協定の目的に基づき平成30年度から設けられた学生表彰制度で、地域の活性化に繋がる優れた取組を行った、学部等に在学する最終年度の学生を表彰するものです。

- ・古藤 優華 (法文学部) ・山田 祐子 (理学部) ・仲榮真 優理 (農学部)

●平成30年度 鹿児島大学進取の精神チャレンジプログラム

進取の精神チャレンジプログラムは、学生憲章の趣旨に則り、学生自らが企画・運営・実施する様々な活動の支援を通じて困難な課題に果敢に挑戦し、実践していくことによって鹿児島大学における進取の精神を継承することを目的としています。また、鹿児島県内自治体や企業などと連携した地域貢献活動を展開してほしいと考え、平成28年度から「地方創生活動部門」を追加しました。

一般部門

- 【最優秀賞】ウミガメ研究会/ウミガメ保全調査活動への関心を高めるための写真展
【優秀賞】SATSUMAロケット研究会/ハイブリッドロケットの開発
【優秀賞】歯学部国際交流部ICU/鹿児島在住外国人への歯科検診ボランティアプロジェクト
【優秀賞】ARchitects/ARによる建築模型の共有とプレゼンテーション
【優秀賞】ロボット研究会/深度センサー付きカメラを用いたロボットの自己位置推定システムの開発

地方創生活動部門

- 【最優秀賞】MIRAI WO TSUNAGU/未来を繋げ!鹿児島大学医療系学生発「子どもむりょう塾」
【優秀賞】第7回南米研修チーム/キャッサバを活用した徳島の地域住民と学生による地域活性化プログラム
【優秀賞】Palmy (KADAI INFO)/WEBの力で地域・学生・大学をつなぐ!
【優秀賞】八重山高原星物語学生運営委員会/八重山高原星物語2018

鹿大生の日常 file.08

#おさかな × 料理 #休日



堅島 敢太郎さん

法文学部法経社会学科 2年

島ならではの魚が揃っているので、いつもワクワクしながら選んでいます。おすすめは安く買えるカツオの腹皮を塩焼きにすること。魚が大好きなので、水産学部への転学もありかな……と考えています(笑)。

漁業が盛んな鹿児島で

料理を楽しんでいます!

手料理をたくさん作ってくれた両親の影響で、私自身も料理をするようになりました。見よう見まねで魚の捌き方を習得し、小学生の頃から刺身を作っては家族にふるまう日々。今は一人暮らしをしているので、休日は思う存分自炊を楽しんでいます。得意料理は「だし巻き卵」と自宅のガスコンロで作る「カツオのたたき」。所属しているラグビー部の友人たちにも好評です。

近所のスーパーは鮮魚売り場が充実していて、よく買い出しに行きます。深海魚のメヒカリ、カンパチの子どもネイゴ、大トロのような味わいのホシガツオ……私の地元ではあまり見られない、漁業が盛んな鹿児島ならでは魚が揃っているので、いつもワクワクしながら選んでいます。おすすめは安く買えるカツオの腹皮を塩焼きにすること。魚が大好きなので、水産学部への転学もありかな……と考えています(笑)。



大晦日に買ったカンパチを自宅で捌く堅島さん。「脂の乗りが最高でした!」将来はイクメンを目指しているそうです!

初めての一人暮らしでも安心!

毎日楽しく過ごしています

進学を機に始めた一人暮らし。今でこそ、自由であることに幸せを感じてきてはいますが、最初の頃は大好きな家族とも離れ、寂しくて仕方がなかったです。家族とはSNSで写真を送り合ったりして、頻りにやり取りしています。心配をかけたくないので、母に私のSNSアカウントをフォローさせて、近況をチェックしてもらっています(笑)。

大学周辺は学生専用の物件が多くあって、一人暮らしを始める学生にとっては安心です。私の家の周囲も鹿大生ばかりですね。地震のときも友達と集まって一緒に過ごしたりできるので心強いです。

食事については、大学生協の「ミールカード」を利用すれば、学食・生協の弁当・パン・飲み物が1日1200円の上限つきで買えるので、自炊の必要がないほどです。かえって食べ過ぎてしまうことも……。今年からは料理を始めるつもりです。

大学生になり、自由な時間が増えたので、色々なことに挑戦できるようになりました。アルバイトをしたり、休日にはレンタカーで遠出したり。2月には短期のシンガポール研修にも参加しました。英語や海外文化に興味があるので、次は長期留学に挑戦したいと思っています。

鹿大生の日常 file.09

#初めての一人暮らし



藤本 美波さん

医学部保健学科 1年



学習交流プラザ(通称「学プラ」)の近くで藤本さんを発見!



「学プラではちょっとオシャレなものが食べられます」と藤本さん。ご飯の写真をご家族によく送るそうです。

(画像は実際のやりとりを再現したものです)

番外編

#取材を終えて

今回の特集にあたり、学生の皆さんは快く取材と写真撮影に応じてくださいました。どうもありがとうございました!

本学には、様々なフィールドで活躍する学生が他にもたくさんいます。勉学や実習に励む学生のインタビューをHP「躍動する鹿大生」に掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。



(注) 学生の学年は2019年3月現在のものです。

鹿大の主な出来事

2018年10月～2019年3月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY
詳細は、大学HPをご参照ください。
<https://www.kagoshima-u.ac.jp>



●かぎん未来創造プランコンテストで学生・大学院生が大賞等を受賞
第2回かぎん未来創造プランコンテスト(鹿児島銀行および九州経済研究所主催)で、理学部4年の尾林莉咲さんが大賞の「未来創造プラン大賞」、理工学研究科1年の須藤順平さんと同1年の松田翔太さんのチームが次点の「ブロードイノベーション賞」を受賞しました。

このコンテストは、独創性のあるビジネスプランを持つ学生や教職員を発掘することを目的としており、優秀なプランについては事業化に向けた支援も行われます。尾林さんは「利用者本位を目指す訪問歯科診療特化型」プラットフォームの提供というプランで、須藤さん・松田さんのチームは「ほげっ」とりいどスマートフォンの簡単！本格ロボットプログラミング！というプランでそれぞれ受賞しました。



上：尾林 莉咲さん、下：須藤 順平さん(左)、松田 翔太さん

●共通教育における成績優秀者を表彰
10月12日、共通教育センター長賞表彰式を実施しました。この表

彰は、共通教育科目の通算GPAの値が3.5以上あった学生を共通教育における成績優秀者として表彰するもの(各学部上位2名)。同センターは、学生に自ら学習成果について自己点検させることも、学習達成度を測るためGPA制度を導入しており、それに基づき今年度は14名が表彰されました。また、2月12日には共通教育センター英語アチーブメントテスト(GTECAcademiC)表彰式を実施しました。これは同センターが実施するグローバル教育科目(英語)の共通実力テスト。第1年次後期の本テストの結果に基づき、各学部の成績最上位者1名に優秀賞が、前期と比較して後期の得点向上が顕著と認められる各学部に上位者2～4名に努力賞がそれぞれ授与され、計29名が表彰されました。



共通教育センター長賞表彰



英語アチーブメントテスト表彰

●学生が平成30年度法人ボランティア表彰を受けました
教育学部4年の中畑裕輝さんと同4年の永山広太さんが、国立青少年教育振興機構から「法人ボランティア」の表彰を受けました。本学の学生が本表彰を受けるのは初めてとなります。

中畑さんと永山さんは、国立大隅青少年自然の家が実施する事業に1年次から参加。4年次の現在まで多数の事業にボランティアとして携わり、子ども達の指導や職員の手助けを行う他ボランティア養成研修(NEA)を受講し、



卒業生・修了生総代答辞

NEAリーダーを取得するなど、意欲的かつ継続的に活動してきました。これらの取組みが評価され、このほど表彰に至りました。

●平成30年度卒業式・修了式を挙げる
3月25日、鹿児島大学卒業式・修了式を挙行しました。卒業・修了したのは、学部卒業生1984名、大学院修了生548名の計2532名です。式では、学部長・研究科長から各学部・研究科の総代に学位記が授与されました。また、法文学部3年の中村俊耶さんによる在学生総代送辞、工学部4年の有馬真樹さんによる卒業生・修了生総代答辞が行われました。

式中、本年度の優秀な学生を表彰する鹿児島大学稲盛賞(学部生15名、大学院生1名)と鹿児島大学工業倶楽部賞(大学院生2名、鹿児島大学商工会議所会頭賞(学部生3名)の授与も併せて行われました(受賞者名は3面に掲載)。

●緑の光を当てるとメスからオスに！大学院生が発見
「メダカに緑色の光を当ててながら飼育すると、メスからオスに換わる」という驚きの実験結果を、本学の大学院生が発表しました。発見したのは連合農学研究科1年の早坂央希さんです。この研究成果は、水産学部研究チームが論文としてまとめ、2月20日(日本時間19時)、英科学専門誌電子版(Scientific Reports)に掲載されました。

◎2019年度学事日程 (共通教育の例)

4月5日	入学式
4月8日	授業開始(前期)
8月10日～9月30日	夏季休業
9月2日	成績発表
9月4日～6日	後期履修申請期間
10月1日	授業開始(後期)
11月15日～18日	大学祭
12月27日～1月5日	冬季休業
2月21日	成績発表
3月16日～18日	2020年度前期履修申請期間
3月25日	卒業式

KAGOSHIMA UNIVERSITY ANNUAL SCHEDULE 2019-20

◎鹿大だより22号(2018.10発行)保護者アンケートより

Q.インフォメーションセンターについて教えてください。

本学と市民の皆様との交流拠点として、大学オリジナル商品や農場で収穫された生産物の販売、研究成果物の展示等を行っている施設です。各学部の広報誌、受験生向け案内誌、イベントチラシの配布も行っています。本学にお越しの際は是非お立ち寄りください！詳細はHPをご覧ください。



部元キャンパス正門横(市営バス「鹿大正門前」下車) 営業/月～金(休・祝祭日除く) 時間/9:30-16:30(昼休み13:00-14:00)



明るい光が差し込む店内 果物(日により異なる) 生花(日により異なる) 大学と企業の共同研究で生まれた商品 オリジナルブランド焼酎 大学グッズ各種(和シャツ、クリアファイル、ポストカード、ボールペン等)

Pick up! 「有機長命草シリーズ」

私が開発しました! 農学部 加治屋 勝子 講師

農学部・鹿児島県南さつま市・企業の3者が協力して開発しました。昔から長寿の植物として親しまれてきた長命草(ボタンボウフウ)にはインサミンやクロロゲン酸などのポリフェノールが多く含まれています。すっきりと飲みやすい味に仕上げています♪

【写真左から】青汁スティック(5g×30包)3,800円 / ティーバッグ(3g×30包)1,600円 / 青汁パウダー(60g)1,600円

◎留学だより

法文学部経済情報学科4年 森宗 風花さん
トビタテ!留学JAPAN/イラン(2018年4月～2018年11月)

留学のきっかけは2年生の夏休みにP-SEGのイラン研修に参加したことです。マイナー言語に興味があり、いつか学びたいと考えていたので、ペルシャ語が公用語のイランはとて魅力的でした。帰国後、長期留学を検討していたときにトビタテ!留学JAPANを知り、応募しました。

イランでは語学学校に通いながら観光会社でインターンとして働きました。周りは全員イラン人でしたし、インターンといえども従業員と同等に扱われるので、ペルシャ語を学ぶには最適な環境でした。仕事に慣れるまでは苦勞もありましたが、翻訳を手がけた旅行雑誌ができあがったときは大きな達成感と感動がありました。

イラン人はおもてなし好きでとても親切です。普段の食事は自炊か外食でしたが、それではつまらないだろうとイラン人のご家族が家庭料理を振る舞ってくれたこともあります。人助けをするのもされるのも当然という考えがあり、そのような彼らの姿勢から学ぶことは多く、私自身も積極性を身につけることができたと思います。一方で、イランには独特の「建前」文化があり、戸惑うこともありました。例えば店で支払いをする際、店員が「お金はいらない」と言うのです。でもこれを真に受けたら駄目。こういった本音と建前を見極めるのは難しく、初めは本気にしたこともありましたが、幸いそれでトラブルになるようなことはありませんでした。このようなイランの面白さ、特色を後輩の皆さんにも伝えていきたいです。

私は中東圏に留学し、たくさんの刺激を受けて帰国しましたが、どのような国であっても、言語や文化の異なる海外で過ごすことは、自分自身に大きな成長と変化をもたらしてくれると思います。本学は多くの海外研修を実施しているので、留学に興味がある皆さんは、ぜひ短期研修からチャレンジしてみてください。

トビタテ!留学JAPAN... 文部科学省が開始した官民協働の海外留学支援制度。詳細は文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」HPをご覧ください。

P-SEG... 本学の総合的国際教育プログラム。海外研修、事前・事後学習、語学学習、留学等を通じ、継続的な学びによるグローバル人材の育成を目指します。詳細はグローバルセンターHPをご覧ください。

INFORMATION

本学のホームページでは様々な情報を発信しています。

リニューアルにともない、学生や教職員の活躍をお伝えするニュースがより見やすくなりました。また、2018年夏から「研究一直線」を公開しており、教員の研究内容や受験生へのメッセージをご覧いただけます。その他、過去の鹿大だよりも閲覧できますので、ぜひご覧ください。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>

最新の就職状況は就職支援センターHPでご覧いただけます。

卒業生の就職状況や、学部・研究科別の就職先一覧をご覧いただけます。また、学内で行われる様々なセミナー・ガイダンス、企業説明会の情報も掲載しています。

就職支援センター 検索

次号(2019年10月号)では就職特集を予定しています。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/career/>

※本誌の送付にあたっては、在学生が学務Webシステムに登録している4月18日現在の住所データを利用しています。住所変更時や送り先の変更をご希望の場合は、学生に確認や変更手続きを行うようご連絡ください。(住所を含む学生情報の変更は、学生本人のみ行うことができます)